

《 国際文化学科 卒業論文題目一覧 》

2008年度

卒業論文題目	指導教員
イスラム善行の教え ～人のために行動するとは～	野村直樹
オーストラリアにおける市民性教育	山本明代
店員対客における「ほめ」の返答の難しさ	佐野直子
日中友好と「反日」	別所良美
健康法としての「瞑想」－心理療法から現代社会への応用まで－	ラジヤ
篠島方言調査－篠島出身の祖父に対する聞き取りから－	佐野直子
なぜジェイン・オースティンは今も人気なのか。	田中敬子
まんじをめぐる問題－シンボルとしての役割と意味の変化－	ラジヤ
近代イギリス社会における中流階級の慈善活動	松本佐保
山の暮らしと食事～山梨県一ノ瀬部落の女性の語りから～	野村直樹
ビジネスを通じた国際協力－マラリア撲滅のための住友化学オリセットネット普及を事例として－	福武慎太郎
シュニツラーの描く女性像－戯曲『恋愛三昧』を中心に－	土屋勝彦
キャラクター化するポライトネス・ストラテジー－オネエ言葉の考察から－	佐野直子
大英帝国における女性の役割－植民地へ渡ったヴィクトリアン・レディたち－	松本佐保
酒蔵を支える女性たちを描く～寺田本家のケース・スタディ～	野村直樹
MLBから観たアメリカ	山本明代
憲法9条はなぜ生まれたのか－憲法制定過程を巡る歴史的考察－	平田雅己
クロード・モネと《ルーアン大聖堂》－展示における連作の魅力－	寺田元一
日本における吊いの変容	ラジヤ
バーのマスターに話を聞く－働く意味を求めて－	赤嶺淳
村上春樹〈鼠三部作〉におけるデタッチメントの変遷	谷口幸代
香りの文化－日本における香道を中心に－	ラジヤ
アメリカにおける異文化の取捨選択と再構築のシステムについて－ハロウィンを通して－	山本明代
中国の格差解消のために	やまだあつし
イギリスの多文化主義－イギリスの中のムスリム－	松本佐保
現代日本語敬語のすがた～敬語使用のユーティリティを探る～	佐野直子
漫画から映画へ－『風の谷のナウシカ』、『鉄コン筋クリート』を例に－	谷口幸代
ファーストフード産業からみるアメリカ社会	山本明代
インドネシア村落における孤児院の果たす役割－インドネシア孤児院に滞在し、そこから見てきたものとは－	福武慎太郎
彼氏がうつになった時－「私はどうする？」という当事者研究	野村直樹
ドイツにおけるトルコ系移民の教育問題－移民の子は「トルコ人」か「ドイツ人」か－	土屋勝彦
アイゼンハワー外交と冷戦－核抑止とは何だったのか－	平田雅己
エンハンスメントと人間の本質	別所良美
神様の信じ方入門～宮古島の御嶽信仰を中心に～	野村直樹
バルトークと民族音楽	土屋勝彦
一杯のコーヒーからつながりをはぐくむ－トアルコ・ジャヤ社の事業を事例として－	赤嶺淳
手作りに込める想い～トンボ玉作家の話から～	野村直樹
〈ダイバーシティ〉に見る外来語カタカナ表記戦略と性の表象の偏り	佐野直子
わすれられた時代 祖父の望郷をおって	赤嶺淳
日本人が持つ中国意識の戦後史－『週刊朝日』における中国記事を基に－	やまだあつし
『ジェーン・エア』における女性家庭教師とイギリス階級社会	田中敬子
ドイツ人であることの重荷－引き継がれた現実不定の国民性－	別所良美
1972年米中接近に関する理論的再検討	平田雅己
西インド諸国における黒人奴隷制の発生と崩壊－イギリスの経済的発展からの分析	松本佐保
竹内好から見る東アジアのナショナリズム	別所良美
日本語の副詞「さすが」「やはり」と韓国語の副詞の意味関係の考察	やまだあつし
中国における日本と欧米企業の現地化	やまだあつし